

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年1月23日

事業所名：秦野市児童発達支援事業たんぼ教室

保護者等数（児童数）：42 回収数：37 割合 88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 ・ 体制	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	4			<ul style="list-style-type: none"> ・丁度良い広さ ・部屋も広くて、毎回自分のクラスしかないから良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の環境を十分に活用できるようスペースを確保していますが、体を動かす場面等は安全性に配慮し、プログラム内容も検討しています。また、事業所の設置環境から屋上にて療育できる環境を活用していきます。二クラス同時開催時は、トイレの混雑を避けるため、時間差を付けています。 ・今年度も新型コロナウイルス感染防止に向け、クラス開催後に物品や玩具の消毒を実施しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より大きな入れ替えにより作業療法士や専門的な人がいないと周りから伺った。 ・前年度からの先生が大勢退職されて、先生方が総入れ替えになったが、比較すると専門性の質は下がった。 ・昨年度の先生方が良かった。新しく入った今年度の先生方は専門性はなし。幼稚園の延長で保育レベル。 ・親へのフィードバックの機会が少ない。 ・先生の人数も多くて、とても助かっている。 ・職員の人数が時々少ない時があるような気がします。 ・子供より職員の数の方が多くてびっくりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めていきます。

整備	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・注意をする場面や外へでしてしまう子供等のフォローが足りない。 ・トイレは個室になっているが、見て覚えるという視点から個室空間が無ければ良い。 ・もっとクッションマットが多いと嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内は活動に集中しやすいよう、必要なものみに注意が向くように配慮しています。また、保護者からのご意見には耳を傾け、話しやすい環境となることを心がけていきます。情報伝達の手段として掲示版を設けていますので、引き続き有効な情報提供に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内は良いが、トイレの空間が清潔がどうか分からない(入ったことが無い為)。 ・それぞれの活動に合わせた部屋があり、良い。 ・掃除が行き届いて衛生的に良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールに沿って掃除をし、清潔に保つよう努めています。また、活動内容に合わせて部屋を設定し、目的や内容がわかりやすい空間づくりに努めています。引き続き、維持できるよう工夫していきます。 ・今年度も新型コロナウイルス感染防止に努めるため、クラス開催後の部屋、使用物品の消毒に努めました。
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	33	3		<ul style="list-style-type: none"> ・計画はされているが、それに沿った支援・活動がされているかは微妙です。とにかく、先生方の療育の経験がなさすぎる。 ・11月に頂いた計画は本人に合わせてよく見て頂いた故の物だった。 ・半年ごとに親と先生で話し合いをするので良い。 ・よく観察されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めていきます。 ・クラス担当者や児童発達支援管理責任者が日々の様子を共有し、計画所を作成する際には、個々の状況を振り返る場を設け立案に努めています。支援計画書の作成時は、保護者へ説明を重視し、計画内容の共有・理解につながるよう面接にすすめています。

適切な支援提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	4		5	<ul style="list-style-type: none"> ・計画はされているが、それに沿った支援・活動がされているかは微妙です。とにかく、先生方の療育の経験がなさすぎる。 ・子供に合わせて支援が受けられていて満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めていきます。 ・新年度開始時にガイドライン内容を職員に周知すると共に保護者へは利用開始時にガイドラインを遵守したサービス提供に努めることを説明しています。ガイドラインの配布はおこなっていませんが、事業所内に設置し、確認できるように努めています。今後も各種法令を遵守した運営に努めます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	4	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・計画はされているが、それに沿った支援・活動がされているかは微妙です。とにかく、先生方の療育の経験がなさすぎる。 ・月齢に対して難度が高いと感じる事があった。 ○例として、直接手で絵具を使う→口に入れてしまう。 ○あずきプール→耳・鼻・気管に入ってしまう可能性。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めていきます。 ・支援計画の内容は、職員間で共有し、支援目標を意識して活動を実施しています。また、療育後は内容の振り返りをおこない、次の療育プログラムを設定していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	27	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・同内容が2.3周続く。 ・固定化している気もする。 ・予定表に記載されていない活動を行う際は事前に教えて頂けるとありがたい。 ・毎回プログラムが違うから楽しみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス毎に利用児の状況に沿ったプログラムを日々話し合い、クラス開催後は興味や様子を観察した上で、その振り返りと次回に向けた検討をおこなっています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	4	7	16	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回の交流会。障害のない子供とはない。 ・あまりない。 ・ほとんど活動する機会はないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的や役割からこの項目の直接的な場面は設けていません。但し、当事業を利用している2歳児から5歳児までの利用児は、地域の中で生活し、それぞれの環境で過ごされています。この背景を視野に入れた小集団でのプログラムを設定し、間接的ではありますが、それぞれの生活環境に反映していけるよう考えています。また、年に一度、4・5歳児クラスの利用児が通園されている先生に対し見学会を設け、連携が図れるように努めています。

保護者への	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、先生方が総入れ替え。意味不明。何故、前年度の先生方が辞める事になったのか？ ・充分、丁寧な説明があった。 ・3歳になったら利用料が無料になると思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時は契約内容、重要事項説明書を市担当者が説明をおこない、事業概要を所長が実施しています。できるだけ丁寧に説明をしていきます。また、運営等のご質問には随時対応できるように努めています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32	2		2		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画作書は、個々面接時間（約1時間程度）を設けて相互に確認をおこなっています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	6	5	15	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足なのか4ヶ月に1回面談がある。長い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子同伴での活動となっていますので、日々の場面での意見交換できるよう配慮しています。また、勉強会等を設けることで保護者支援につながるよう設定しています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4ヶ月に1度、本人の様子が聞けるが、足りなく思う。 ・いつも話し合いが行われている為、出来ている。 ・家での様子など毎回聞いてくれるので情報共有が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子分離のクラス（4～5歳児）は、極力保護者の方がたに観察室からの見学をお願いし、観た内容に基づくフィードバックができるよう努めています。 ・母子同伴のクラス（2～3歳児）は、日々の活動時に情報の共有を意識します。 ・フィードバックの際には、担当のみだけでなく、他の先生もフィードバックに入り、クラス担当間での共通理解が深まるよう努めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・4ヵ月は長すぎる。フィードバックは毎回すべき。人員不足。頑張っておられるが、現場の問題。 ・運営側の都合により、かなり不定期にしか行われな い。 ・いつも先生が助言等言って下さるので有難い。 ・こちらの質問に対する回答がなかったり、納得のいく回答がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての方に対して、お話しする時間を十分に確保することができず、ご不便をおかけしています。年3回の定期面接の他、必要と思われる時には別途時間を確保しお話しするようにしています。必要な時には遠慮なくお声掛けください。

説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	7	3	19		・保護者同士の連携を図るための機会は設定していませんが、活動時に母子分離した際に保護者控室を設けて交流が図れる環境を提供しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	7	2	3	・療育の経験・知識を持った人を先生として置いて欲しい。	・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めています。 ・保護者との面談は年に3回を予定しています。この場面では支援計画策定が主になりますが、他相談についても確認しています。また、日常的な相談は活動場面を通じて対応する等していますが、ニーズに沿って体制を見直ししていきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	4	2	4	・当初、面談を2組合同で実施しようとしていた(現在は個別)。かなり、個人的な事を相談したりする内容なのに他の保護者に聞かれたりするのは良いとは思わなかった。 ・療育の経験・知識を持った人を先生として置いて欲しい。 ・とても配慮されている。	・活動場面等で日々意識していますが、今後も配慮していけるよう努めています。また、個室以外で話を行う際には、声量や内容に配慮いたします。 ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	3	3	15		・活動概要や行事等は、月のお知らせ等を通じて情報の発信を行っています。また、サービス評価結果については、事業所内掲示や法人ホームページに掲載をしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	1	2	5	・当初、面談を2組合同で実施しようとしていた(現在は個別)。かなり、個人的な事を相談したりする内容なのに他の保護者に聞かれたりするのは良いとは思わなかった。	・個室以外で話を行う際には、声量や内容に配慮いたします。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	4	2	11		・緊急時や感染症対策については、研修や訓練を実施しています。また、マニュアルの周知・説明に努めています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2	4	9		・母子同伴のクラスと母子分離のクラスで避難訓練の実施が異なります。内容については、利用開始時等の場面を通じて実施方法の周知を図っています。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32	4			<ul style="list-style-type: none"> ・通うのが2年目となり、お友達とも慣れ、通所する事自体はとても楽しみにしている。 ・子供は友達と遊べる！という感覚。親としてはもっと療育を求める。 ・とても楽しみにしています。 ・いつも嫌がらないで行くので楽しみにしていると思います。 ・毎週、行くのを楽しみにしていて、朝玄関まで笑顔で来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上について、臨床心理士や理学療法士による研修、外部研修の参加、また他の専門機関からの助言や見学等を通じて必要な知識・技術の習得できるよう努めています。 ・クラス開催は、7～8名の小集団での活動となるため、それぞれの子どもが興味を持って参加できるように職員間で検討し、実施しています。また、子どもの反応や様子は次のクラス開催に反映するよう努力しています。

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	25	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度な子は活動に入れるが、フォローしきれていないように見えた。保護者間での不満をよく聞いた。発達指導資格の人が活動へ入るべき。 ・先生たちの専門性に疑問を感じる。また、特徴のある子供たちの扱い・接し方が特別優れているとは思えない。 ・子供は友達と遊べる！という感覚。親としてはもっと療育を求める。 ・これからも宜しくお願いします。 ・親子共々、親身になって支えて頂き心より感謝しています。 ・こちらからのお願ひだけに対応するのではなく、職員の方々からも指摘して頂きたい。 ・日頃の支援に心から感謝しています。家庭保育以外の場で様々な刺激を受け、本人なりに少しずつ成長している姿が見え、嬉しく思っております。また、些細な事でも保護者の不安や懸案している事に寄り添って頂けることも有難いです。 ・色々なプログラムがあり、毎回楽しみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本評価のご意見を受け、ありがたいと感じるとともにより一層の努力をしていきたいと感じています。ご意見はまだまだあるかと思いますが、少しでも不安なく利用していただけるよう、事業所として意識し努めていきます。尚、評価書の回収率が昨年度より上回っており、大変ありがたいと感じています。来年度もさらに多くの方に提出していただけるよう努めていきます。